

施工幅の調整対応を可能にしたウォータージェット目地除去装置



施工風景



施工前



施工後

関西国際空港にて試験施工を行い、目地補修工事に採用されました

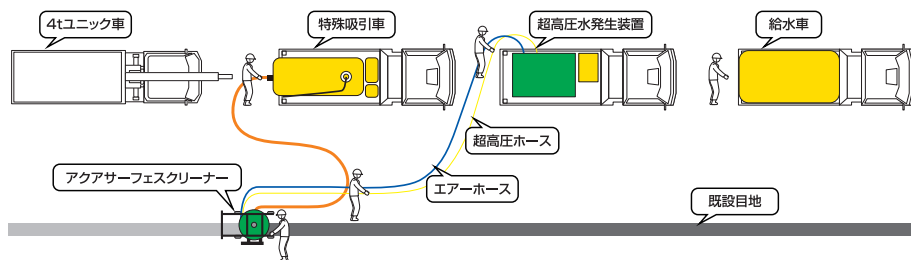
概要

当該技術は、空港等のコンクリート舗装間の目地を補修する際、ウォータージェット工法にて専用のノズルヘッドを用い、超高圧の水圧で目地材を除去する技術になります。

従来技術では、重機に掻き出す爪(リッパ)を取り付けて掻き出し、人力にて取り出した上に、側面の残った目地をハンドカッター等にて切断、高圧洗浄機にて水洗いを行った後に、目地材の充填を行う必要がありました。

特徴

- ①目地除去専用のノズルヘッドの開発により、施工する幅に合わせてノズル個数、又はノズルサイズを変更して施工を行える為、目地幅が一定でない場合にも柔軟に対応することが可能です。
- ②従来技術では目地幅が極端に狭いと、断面に目地材が残存することがありましたが、当該技術の場合、形状による影響がありません。
- ③専用クリーナーと特殊吸引車をホースで接続することにより、濁水・廃材を同時吸引する為、機械施工後に洗浄作業を行う必要が無く、省人化・工程の短縮が図れます。



専用ノズルヘッド仕様

ノズル穴数	1~12穴
吐出水量	8~22ℓ/min程度
吐出圧力	80~245Mpa
施工幅	10~70mm
除去速度	3m/min程度
施工能力	80~100m/h程度